



暖かい心 広い視野 行動力 『県民ひろば号外』

# もりちゃん通信

大分県議会議員 守永信幸活動報告

発行責任者  
大分県議会・県民クラブ  
守永 信幸  
〒870-0022  
大分市大手町3-1-1  
TEL 097-506-5088  
FAX 097-538-0136

## 心豊かな暮らしは平和から

2022年第4回定例県議会では、開会日に議員提出議案として提案された「北朝鮮によるミサイルの発射に抗議する決議」の採択が行われました。北朝鮮は、今年になってミサイルの発射を繰り返しています。特に10月4日に発射した弾道ミサイルは、日本の上空を通過し、太平洋上に落下しており、日本国民に恐怖を感じさせるものとなりました。北朝鮮の一連の行動が、日米韓の共同訓練などに刺激されてのものと考えれば、日本が東アジアの一員として取るべき対応について議論を深めなければならないと感じます。

与党は自衛力の強化を主張し、GDP（国民総生産）比1%の予算枠を2%まで拡大すると言っています。具体的には「敵基地攻撃能力（反撃能力）」の装備について、臨時国会閉会後に閣議決定しており、専守防衛の理念から大きく外れていくことが危惧されます。

### 無意味な武力競争

日本の防衛議論になると「敵から攻撃された時にどうするのか」と、多くの方が問いかけてきます。しかし攻撃された時、どの様な反撃の手段を持つとも、尊い命が失われるのです。一人でも失われる命があるとすれば、攻撃されない努力に徹するべきではないでしょうか。どんなに高度な武力を備えても、相手国は常に日本の武力を上回ろうとします。単に武力の拡大競争が激しくなるだけです。

そして相手の行動に過敏になり、誤って戦争に突入する危険性も高まってしまいます。

### 日本国憲法の重さを考えよう

日本国憲法の前文には、「日本国民は、恒久の平和を念願し、(中略)平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」と記述されています。日本国憲法を創った先輩方は、沖縄戦を経て、本土空襲を経験し、更に広島・長崎と原爆の投下を目の当



▲戦艦から発射されるミサイル

たりにし、戦争をしてはならないと心から感じ取り、憲法改定議論を重ね、平和憲法の重みを共有してきたのだと思います。

戦後77年が経過し、終戦直後に生まれた方も寿命を超える時代です。社会の中核を担う多くの方が戦争を知らない世代となりました。安全保障環境が変化したと語る政治家の言葉。それは戦争体験が遠くなり、平和を紡ぐ思いにこそ変化が現れたのかもしれませんが。今こそ、周囲に合わせるのではなく、真に大切な思いを頑なに護るべきではないでしょうか。選ぶのは私たち国民です。政治家や権力者が勝手に決めるものではありません。私たちが、日本国憲法の重みを改めて感じ取り、進むべき道を考え、選ばなければなりません。

日本国憲法には、私たちの権利を守るために、権力者の義務が綴られています。その憲法を背景に、私たちの暮らしに関わる法律が定められ地方自治体の営みとして、私たちの暮らしが護られているのです。日本国憲法が、暮らしを支える基盤であることを念頭に置きながら、改憲議論の適否を見極めていかねばなりません。これからも様々な情報を提供させて頂きながら、皆さんと一緒に憲法の在り方について考えて参ります。

暮らしの相談承ります。

TEL 097-506-5088  
FAX 097-538-0136

# 県民が一番！だから「現場主義」

## ～広瀬県知事の歩んだ20年とは～

### 財政再建団体化の回避

広瀬県知事が就任したのは、2003年4月。知事は、就任後すぐに太平洋新国土軸豊予海峡ルート凍結を打ち出しました。また財政の現状分析をする中で大分県財政が非常に厳しく、財政再建団体に陥る可能性があることを指摘し、行財政についてゼロベースからの見直しを行うこととしました。約1年を掛けて「歳出の削減」、「行政組織の統廃合・合理化」、「大規模施設の整理」、「県税収入の改善」を柱とする『大分県行財政改革プラン』を2004年3月に公表し、具体的に実践してきたのです。

中でも平松知事の時に短期間で整備した大規模施設、①県立総合文化センター（オアシス21）、②別府コンベンションセンター（ビーコンプラザ）、③大分農業文化公園、④大分香りの森博物館、⑤マリナルチャーセンター、⑥大分スポーツ公園総合競技場（ビッグアイ）等の運営に関して管理委託や廃止などを進め、その他の青少年教育施設や体育施設、社会福祉施設などについても見直されてきました。

税収についても、広瀬知事自身が大分県議会に提案した産業廃棄物税（法定外目的税）条例を2005年4月から施行。更に森林環境税（道府県民税均等割部分の超過課税）の導入を提案し、2006年4月から施行するなどの取り組みを各県に先駆けて実践しています。

また県民の皆様にも多大な痛みを強いるものであることから、県職員自らが先んじて財政の健全化に向けた総人件費の削減として、定数の削減と賃金カットについて労働組合と協議しながら取り組んできました。

### 行財政改革は手段に過ぎず

広瀬知事の1期目、2期目は、財政健全化に向けた努力と辛抱の期間だったと思います。広瀬知事は「行財政改革は、財政の健全性を確保するための手段であり、決してそれ自体が目的ではない。改革を実行する過程では、県民の皆様にも、少なからず痛みが伴うことも想定されるが、すべてを一律に切り捨てるのではなく、施策の選択と集中を図り、重点的な施策に対しては機動的、集中的に財源と人材を投入し、県民の皆様への影響をできる限り軽減させる。改革を断行することにより、最小の費用で最大の効果を生み出す効率的な歳出構造が確立され、またスリムで機動的な県庁組織が構築され、県民を中心に据え、安心して心豊かに暮らせる大分県、知恵と努力が報われる活力ある大分県、そして人材溢れ発展する大分県を創造する確固とした基盤が築かれる」と言っています。あくまでも夢を実現させるための努力の期間としての約10年間は現在の大分県につながっています。



▲県立総合文化センター「オアシス21」



▲別府コンベンションセンター「ビーコンプラザ」



▲大分香りの森博物館（売却処分）



▲マリナルチャーセンター（解体）



▲県立美術館OPAM



▲朝日を浴びるビッグアイと県立武道場

## 大分の芸術文化を高める

行財政改革を進めながらも、県民の芸術文化を高めるための施設として、県立芸術会館の老朽化と狭隘な展示スペースを課題として、県立美術館の基本構想策定に着手することを2009年3月に表明し、2010年1月に設置した大分県美術館構想検討委員会から基本構想についての答申を2010年11月に受け、2011年2月に新しい県立美術館の建設を表明し、プロポーザル方式で入札し、2014年10月にOPAMとして竣工させています。

また、ラグビーワールドカップ2019に向けてメイン会場となるビッグアイの背後施設としての活用や南海トラフ大地震発生時の緊急対策施設としての活用を想定した武道場の建設など、県民目線で必要と考えられる施設の整備には積極的に取り組んでいます。

## コロナ禍の下で振り返ると

行財政改革を始める前年度(2003年度)との比較では、2015年度までに定数は知事部局と教育、警察併せて2,261人の削減が実行されました。業務の見直しを併せて実行したにもかかわらず、職員の業務上の負担は増大し続けた気がしています。現場を重視することで、一つの業務に掛ける時間が増え、更に地方振興局の統合などにより所管するエリアが広がり、現場を持つ職員は移動時



▲企画に様々な工夫を凝らす大分農業文化公園

間という負担も負いました。

日常業務をこなすために超過勤務をしなければならぬ状態が平時となった環境下で、自然災害の頻発やコロナ禍によって業務が円滑に進まない状態に陥っています。今の体制では、県民の皆様にしかりとしたサービスを安定して提供できなくなるのが、明らかとなったのではないのでしょうか。職員定数については、コロナ禍の下での職場環境を点検し、必要な見直しをすべきと考えます。

## 残された任期中に為すべきは

広瀬知事には5期20年にわたって的確な県政運営をされたと、私は感じています。県民を主体として、現場主義で取り囲まれて、感じ取ってこられたことを、部局長だけでなく課長クラスの職員と意見交換する中で、経験を伝えて頂きたいと思います。新たに就任する知事を支えるのは、部下職員です。県民に的確なサービスを提供するために、広瀬知事の持つノウハウを職員に伝え、行政運営に停滞がないようにすることが、広瀬知事の残された任期中にしておくべき事だと考えます。

大分県における職員定数の削減状況

単位：人

項目		2003年度 (H15)	2011年度 (H23)	2015年度 (H27)	2021年度 (R3)
知事部局 (一般行政職)	職員定数	4,645	3,870	3,847	3,844
	2003年との比較	—	△ 775	△ 798	△ 801
教 育	職員定数	11,502	10,225	9,957	9,878
	2003年との比較	—	△ 1,277	△ 1,545	△ 1,624
警 察	職員定数	2,345	2,405	2,427	2,437
	2003年との比較	—	60	82	92
合 計	職員定数	18,492	16,500	16,231	16,159
	2003年との比較	—	△ 1,992	△ 2,261	△ 2,333

# 事故ゼロをめざして

年の初めに、今年一年の目標を定めて、家族や自分自身のやる気を奮い立たせると言う大げさかもしれませんが、何かをしようとする方が多いと思います。

その一つの例として、事故ゼロをめざすのは、いかがでしょうか。

車を運転する方であれば、自分自身の事故ゼロから出発して、次第に周りを巻き込んでいくと、家族内、それから隣保班グループ、自治会、小学校区、中学校区など、身近なエリアで交通事故ゼロをめざす呼びかけをすることで、お互いに注意

意識も増すのではないのでしょうか。

大分市津留地区の岩田町地域では、1丁目から3丁目までの3つの自治会で有志を募り、児童の登校時の安全指導を行っています。児童や生徒が安心して登校できるように取り組んでいるのですが、交通マナーをもう少し意識して欲しいケースに度々出遭います。



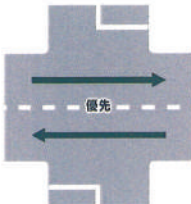
そのひとつとして優先道路のことについて触れます。

## 優先道路の標示を意識していますか？

日頃通行している道路の中に、優先道路の表示がある交差点があるはず。優先道路を見分けるには、別表の「優先道路を見分けるポイント」に着目して頂き、優先道路を通行する車輛等の進行妨害をしないよう注意をしてください。優先道路を意識していない場合で、時折「ヒヤリ」とすることがあります。

### (別表)

#### 優先道路を見分けるポイント

<p>1. 「優先道路」の標識がある道路。 右の「優先道路標識」がある道路が優先道路です。</p>	
<p>2. 「前方優先道路」の補助標識がある場合。 右の補助標識があれば、交差する道路が優先道路です。 補助標識が無くても、交差する道路が優先道路の場合があります。</p>	
<p>3. 中央線（センターライン）が交差点内を貫通している道路 右図のように交差点内にセンターラインが貫通している道路は、センターラインがある道路が優先道路になります。図の様な道路では、矢印の様に通行する場合、優先道路になるので一時停止や徐行の義務はありません。しかし、道路交通法の中で次の枠内のような定めもあるので、事故が起きた場合に過失責任が生じる場合があります。</p>	

## 人や自転車の横断を最優先に

通勤時間帯は人や車輛の通行量も多く、信号も1回待ちでは通過できないこともしばしばです。急ぎたい気持ちを抑えて、安全運転をお願いします。信号のない横断歩道で人や自転車に乗った方が待っている場合に、停車して頂けると、誰もが爽やかに感じるものです。横断し終えて、振り返りお礼の所作をする子どもには、笑みさえ浮かびます。

今年は安全運転を意識することを切っ掛けとして、街中で笑顔溢れる一年としたいものです。ご協力をお願い致します。

### 交差点を通行する際の注意事項

<p>車輛等は、交差点に入ろうとする場合や交差点内を通行するときは、交差点の状況に応じ、以下の各事項に注意し、できる限り安全な速度と方法で進行しなければなりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①交差する道路を通行する車輛等</li> <li>②反対方向から進行してきて右折する車輛等</li> <li>③交差点又はその直近で道路を横断する歩行者には特に注意する。</li> </ul>
--

### 優先道路以外での道路の優先関係

<p>道幅が異なる交差点の場合 優先道路の標識等がなく、交差する道路の道幅が異なる場合は、道幅が明らかに広い道路が優先です。</p>
<p>標識等がなく道幅も同じ交差点の場合 優先道路の標識等や中央線、車両通行帯がなく、道幅も同じ交差点では、左側から進行してくる車輛等が優先されます。</p>

## お知らせ

- ◇常任委員会は「文教警察委員会」に所属。
- ◇行政や暮らしの相談をお受けしています。お気軽にご連絡下さい。
- ◇グループでの集まりなどに、お声がけ頂ければ、日程を調整の上、参加させて頂きます。
- ◇守永信幸後援会の会員を随時募集しています。年会費3千円です。

連絡先：097-532-4919  
FAX：097-534-6598

## 編集後記

皆様には、穏やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。▶新型コロナ禍が収まらず、新年の行事も自粛ムードの中で密を避けての状況。春に向けて様々な挑戦の時節です。お互いに衛生管理に注意を払いながら、喜びの春を迎えられるよう、努力したいものです。▶この一年が、皆様にとって、笑顔溢れる一年となることをご祈念申し上げます。